



# Hydraulic clutch kit 取扱説明書

(旧タイプ乾式用 / オイルフィルター前方出しタイプ用)

商品番号 : 02 - 02 - 203

: 02 - 02 - 2106 (マスターシリンダー無し)

適応車種 : 6Vモンキー / 6Vゴリラ フレーム番号 : Z50J-1300017 ~ Z50J-1805927

適応車種 : 12Vモンキー フレーム番号 : Z50J-2000001 ~

適応車種 : 12Vゴリラ フレーム番号 : Z50J-2500001 ~

適応車種 : モンキー B A J A フレーム番号 : Z50J-1700001 ~

適応車種 : モンキー R T フレーム番号 : AB22-1007601 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

## ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

長いハンドル等をご使用の場合、オイルホースが届かなくなる場合があります。

当製品は、上記適応車種で弊社製 Dry type special clutch 取り付け車両専用用品です。他の車両、クラッチには取り付け出来ませんのでご注意下さい。

当製品を使用するには、コンビネーションスイッチが別途必要です。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。(部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。)
- ・乾式クラッチは、クラッチアウター等の回転部分がカバーの隙間から触れることが可能です。エンジン始動時に絶対に覗き込んだり、触れたりしないで下さい。又、単車に乗られる場合は、足等を保護し、クラッチの回転部分に巻き込まれないような服装をして下さい。(転倒等の事故、ケガ、火傷の原因となります。)
- ・エンジンを回転させず場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・マフラーにオイルホースが干渉しないよう(20~30mm以上の間隔は確保する。)にホースを取り回して下さい。(事故の原因となります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

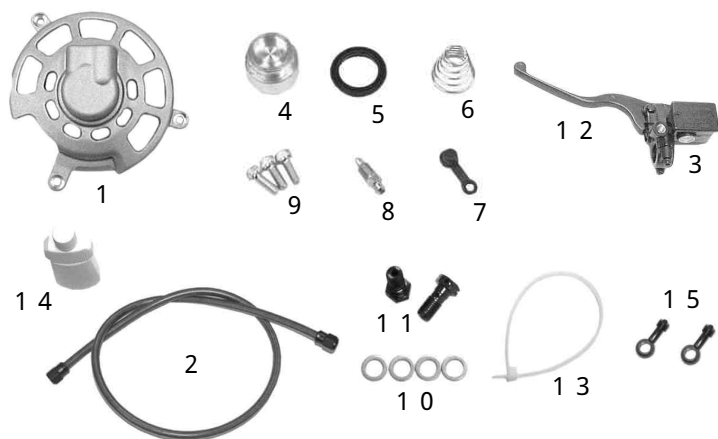
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

## 特徴

- ・クラッチリリース方式を油圧方式にする事により、クラッチ操作のレスポンスが良くなり、操作性が向上します。

## ～ 商品内容 ～



番号	部 品 名	個数
1	ハイドロリッククラッチカバー	1
2	ホース 775mm	1
3	L.マスターシリンダーASSY.	1
4	クラッチリリースピストンCOMP.	1
5	ピストンシール	1
6	クラッチリリーススプリング	1
7	ブリーダーキャップ	1
8	ブリーダースクリュー	1
9	ソケットキャップスクリュー 6×15	3
10	シーリングワッシャ	4
11	バンジョーボルト	2
12	クラッチレバー	1
13	タイラップ 200mm	1
14	ブレーキフルード BF 4 (200cc)	1
15	バンジョー(ストレート)	2

商品番号02 02 2106には、3番は含まれません。

## ～ 取り付け要領 ～

セット内容を、御確認下さい。

### (取り付け準備)

△注意：エンジン、マフラーが冷えていることを確認する事!!  
車両を安定させる事!!

1. 車両をメンテナンススタンド等で安定させ、クラッチケーブルアジャスト部分のナットを緩めクラッチアームからクラッチケーブルを外します。
2. クラッチレバーからもクラッチケーブルを取り外し、車両から外しておきます。



3. クラッチカバーの3本のボルトを外し、クラッチカバーを取り外します。
4. ウィンカースイッチのケーブルを抜き、2本のボルトを外し、ウィンカースイッチをクラッチレバーごと取り外します。

### (取り付け)

△注意：トルクレンチを用意し規定トルクを必ず守る事!!



1. クラッチリリースピストンの突起部にクラッチリリーススプリングを取り付け、クラッチリリーススプリング側からハイドロリッククラッチカバーのシリンダー部にはめ込みます。

ピストンシール、ハイドロリッククラッチカバーのシリンダー内側にブレーキフルードもしくはラバーグリスを必ず塗布して下さい。

2. ハイドロリッククラッチカバーをR.クランクケースカバーにしっかりとめ込みソケットキャップスクリューで仮締めし、指定トルクで締め付けます。  
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
3. ハイドロリッククラッチカバーにブリーダーキャップを取り付けたブリーダースクリューを取り付けます。  
 $T = 5 \text{ N} \cdot \text{m} (0.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
4. L.マスターシリンダーをハンドルにソケットキャップスクリューで取り付け、指定トルクで締め付けます。  
 $T = 10 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



5. ハイドロリッククラッチカバーのザグリ部分にシーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順に置きバンジョーボルトを手で仮締めし、オイルホースをL.マスターシリンダーまで取り回し、シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャの順にバンジョーボルトで取り付けます。位置が決まれば、バンジョーボルトとホースフィッティングを指定トルクで締め付けます。

### バンジョーボルト

$T = 15 \text{ N} \cdot \text{m} (1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

### ホースフィッティング

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

### (クラッチ液の注入)

1. L.マスターシリンダーのリザーバキャップを取り外し、ブリーダースクリュー、バンジョーボルトが締め付けられていることを確認し、L.マスターシリンダーのリザーバの上限レベルまでクラッチ液を注入し、クラッチレバーを操作し、クラッチシステム内にクラッチ液を満たす。この操作をリザーバ内のプライマリポートから気泡が出なくなるまで(クラッチレバーに重みを感じるまで)行う。  
化学変化を防止するため、異なった銘柄の液を混入させないこと。クラッチ液は、塗装面を損傷させるので部品類に付着させないこと。
2. ブリーダースクリューにビニールチューブを取り付け、クラッチレバー先端がハンドルグリップに当たるまで握り、ブリーダースクリューを約1/2回転緩め、再び締める。クラッチレバーをゆっくり放し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置する。ビニールチューブから気泡が出なくなるまでこの操作を繰り返します。
3. エア抜きが終了したら、クラッチ液をリザーバの上限レベルまで補給し、ダイヤフラム、リザーバキャップを取り付けます。ブリーダースクリューの締め付けトルクを確認します。

△注意：エア抜きが完全でない場合、エンジンが高温になるとクラッチが切れなくなる可能性があります。

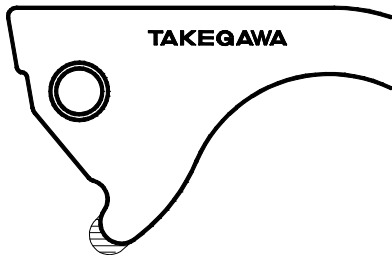
### (組み付け後)

1. エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトしクラッチレバーを握ります。車両を動かした際リアホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しないことを確認して下さい。
2. トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し、各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速度の走行テストを行いクラッチの作動を確認して下さい。

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号  
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059  
株式会社 SPECIAL PARTS 武川  
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857  
URL <http://www.takegawa.co.jp>

## マスターシリンダーのご使用について

レバー交換等で一度マスターシリンダーよりレバーを外した際は、レバー取り付け後にピストンとレバーの遊びが変わる場合があります。その場合、レバーの斜線部分をヤスリ等で削って調整して下さい。



株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川